

8/27 木

## 民生・技術・民間空港・港湾

- 民生分野の軍事利用を想定する「特定重要技術」
- ① エネルギー（高出力マイクロ波・レーザー）
  - ② センシング（高精度の測位・航法）
  - ③ コンピューティング（高速・高効率コンピューター）
  - ④ 情報処理（人工知能、自衛隊員の認知）
  - ⑤ 情報通信（高速・大容量通信）
  - ⑥ 情報セキュリティ（サイバー）
  - ⑦ マテリアル（耐熱・軽量素材など）
  - ⑧ 無人化・自律化（ドローン、自律兵器）
  - ⑨ 機械（極超音速飛しょう技術）

# 新たな「国家総動員体制」

## 政府関係閣僚会議

新たな「国家総動員体制」と言える動きが始動しました。政府は25日、安保3文書の一環として、①民生技術の軍事利用②民間空港・港湾の軍事利用への推進を目的とした閣僚閣僚会議（議長・松野博一官房長官）の初会合を開催。研究開発では、9分野を「重要技術課題」に指定しました。民生分野を大奮闘するかまえです。この中には、危険な攻撃的兵器につながる技術も目につきます。

政府は配布資料で、「民生技術・民間空港・港湾」の軍事利用をめぐらして、攻撃目標の自動設定なし未知の危険をはらんでいます。

「機械」分野では「極超音速飛しょう技術」を列挙。音速の数倍から十数倍で飛行し、航程5000km以上이며、それる極超音速兵器の技術基盤となります。長距離の敵基地内での装備化＝兵器化を目標に掲げました。

このうち、「エネルギー」分野では高出力エネルギーを投射する高出力マイクロ波、高出力レーザーを列挙。各国が開発を進めているレーザー兵器につながる技術です。

「無人化・自律化」では、ドローンなどの無人兵器や、AI（人工知能）使用の自律兵器が想定されます。AIを

めぐらして、攻撃目標の自動設定なし未知の危険をはらんでいます。

「機械」分野では「極超音速飛しょう技術」を列挙。音速の数倍から十数倍で飛行し、航程5000km以上이며、それる極超音速兵器の技術基盤となります。長距離の敵基地内での装備化＝兵器化を目標に掲げました。

このうち、「エネルギー」分野では高出力エネルギーを投射する高出力マイクロ波、高出力レーザーを列挙。各国が開発を進めているレーザー兵器につながる技術です。

「無人化・自律化」では、ドローンなどの無人兵器や、AI（人工知能）使用の自律兵器が想定されます。AIを